

人口 484,034人 (+470)  
 男 234,960人 (+251)  
 女 249,074人 (+199)  
 世帯数 175,412 (+513)  
住民基本台帳による。( )は前月比

平成7年  
 7月9日  
 第1480号

# にいがた



発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 〒951 編集 総務部広報課  
 学校町通1-602-1 印刷 徳第一印刷所

## 定例市議会

# 天寿園の取得など 30議案を可決



市民の皆さんに開放する「天寿園」

六月十九日から開かれていた六月定例市議会は、約十一億五千万円を追加する一般会計補正予算、下水道事業会計ほか二事業会計の補正予算など三十議案と諮問一件、報告四件をすべて可決、承認、同意し、今日三日に閉会しました。

一般会計補正予算では、枠の拡大として五億円、下河内対策の一環である不況 山江口線などの道路改良事業、対策特別融資貸付金の貸付 業に一億九千万円の追加

加などが可決されました。財産の取得では市民に開放する中国庭園「天寿園」の取得ほか二件を可決。工事契約の締結では、精神障害者通所更生施設「明生園」の定員を三十五人から七十人に増やすための増築工事と同施設に併設する知的障害者向けデイサービスセンターの新築工事、鏡湖小学校校舎改築工事、大形小学校屋内体育館改築工事、(仮称)新潟市民文化会館建設工事ほか八件が可決

## 7月14日

### 北地区市政懇談会

地域の皆さんと市長が身近な課題について話し合う「市政懇談会」が北地区で開催されました。

地区で選んだ議題のほか、会場の皆さんから自由に発言いただく時間もありました。多数のご参加をお待ちしています。

日時 七月十四日午後一時半から

対象 北地区在住の市民、市側出席者 市長、局長、部長、ほか

問い合わせ 市民相談室 (内線2062番) ※自家用車での来場はご遠慮ください。

## マリンピア日本海 シーラカンスと古代魚展

マリンピア日本海では、夏の特別展「シーラカンスと古代魚展」を七月二十二日から八月三十一日まで開催します。

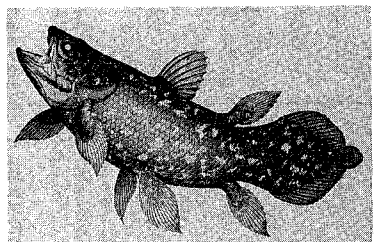
開館五周年を記念して行われる同展は、生きた化石といわれるシーラカンスのはく製、内蔵標本および解説パネルなどを中心に展示します。また、現生の古代魚を四つの水槽で紹介しながら、魚類の系統や進化を、原始の特徴を今に残す古

代魚の姿をぜひご覧ください。なお、通常の入館料でご覧になれます。

期間 七月二十二日～八月三十一日

時間 午前九時～午後六時、七月二十二日、二十四日は午後五時まで

問い合わせ マリンピア日本海 (022) 222-1750



生きた化石といわれるシーラカンス

## 8月13日に一般公開 大型帆船日本丸が寄港

大型帆船日本丸が八月十一日から十七日まで新潟港に寄港します。見ることができ、山の下頭にて寄港一般公開、船内一般公開のほか、十一日午前十二時、八月十三日午前九時四十分に入港式典、十二日午後一時、十三日午後一時に帆を張るイベント、各四千人(応募多数)の観覧が予定されています。

問い合わせ 港湾空港課 (内線2856番)

## 市政運営の基本的指針 第4次総合計画書刊行

市では、平成七年度から十七年度までの十一年間、なる第四次総合計画書とその概要版をこのほど刊行しました。

総合計画書は基本構想と基本計画からなっており、基本構想では、「市民一人ひとりが光り輝き、人間として尊重される市民主体都市の創造」をまちづくりの基本理念とし、本市が目指す都市像などを掲載しています。また、基本計画では、基本的な施策の方向を体系的に示しています。

概要版を市役所案内、地区事務所、連絡所で差し上げます。希望者は窓口に出していただきます。

問い合わせ 総合企画課 (内線2104番)

## 市役所・市教育委員会

☎228-1000 (代表)

野球場 テニスコートの申し込み 266-8111  
 園芸センター 286-1034  
 水道局 266-9311  
 水東保健所 243-5311  
 石山地区保健センター 286-4450  
 鳥屋野地区保健センター 285-2373  
 北地区保健センター 259-7332  
 西地区保健所 266-5171  
 西地区保健センター 262-3405  
 坂井輪地区保健センター 260-3255

【急患診療】(市医師会・県歯科医師会)  
 急患診療センター 228-2822  
 休日歯科診療センター 283-3030

## マリンピア日本海 市民家族割引券

この券でご来館の家族全員の入館料を2割引といたします

大人	1,500円→1,200円
小人(小中学生)	600円→480円
幼児(4、5歳)	200円→160円

有効期間 平成7年7月9日～平成8年3月31日

新潟市

## 新潟点描 酒屋小学校の校門

元氣な子どもたちを優しく見守る校門

小阿野川に沿って帯のように長い町並み形成している酒屋町。この町には古くからの歴史が今なお残っています。

酒屋小学校の入り口に凛々として立つてある校門。これは昭和五二年に建てられたもので、戦前、戦後と多くの子どもたちを見守ってきました。

古くからの町に住んでいる坂井七七さん(酒屋町)は「昔はたくさんの方が会津のほうから阿賀野川を下り、新津からこの小阿賀野川を渡っていた」と目を細めていました。